

筆の里工房 2月の休館日
2月4日・12日(火)・18日・25日

学校	学年	名前
第一小	1年	三重野 ありさ
	2年	寺本 奈央
	2年	福垣内 菜
	3年	浅原 勝己
	3年	土路 奈美穂
第二小	3年	新岡 貴則
	4年	土路 友莉奈
	4年	世良 幸穂
	4年	中川 由貴
	5年	浅原 愛
第三小	2年	永津 藍
	3年	脇田 寛
	4年	谷村 綾司
	1年	後迫 憲
	3年	工藤 絢
第四小	4年	野上 和真
	5年	後迫 知華
	1年	佐野 智枝
	2年	清水 舞
	2年	田中 花奈子
熊野中	2年	前野 桃
	2年	山本 知奈美
	6年	猪野 未来
	1年	進矢 有姫
	1年	川城 仁美
東中	1年	浅原 由梨香
	2年	松浦 雅子
	2年	藤田 絵理
	2年	佐崎 有佳史
	2年	濱田 雅
熊野中	2年	濱田 雅
	2年	濱田 雅
	2年	濱田 雅
東中	1年	中川 さやか
	3年	時光 由貴
	3年	時光 由貴

1月5日、6日に行った書き初め大会の金賞が、次の方々に決定しました。(敬称略)

新春書き初め大会

1月5日、6日に行った書き初め大会の金賞が、次の方々に決定しました。(敬称略)

全国から2、972作品の応募があった「絵てがみ年賀状」の大賞以下534作品の賞が決定しました。多数のご応募ありがとうございました。

作品展示 2月24日

町内の主な入賞者(敬称略)

一般の部

優秀賞 真樹 栄(城之堀)

奨励賞 福原 秀一(萩原)

子どもの部

奨励賞 後迫 知華(貴船)

土路奈美穂(城之堀)

「絵てがみ年賀状」大賞決定

全国から2、972作品の応募があった「絵てがみ年賀状」の大賞以下534作品の賞が決定しました。多数のご応募ありがとうございました。

作品展示 2月24日

第三回「ふれあい書道展 優秀作品展」

書に興味を持ち始め、地域の文化活動をされている幼児、児童、生徒、学生、一般、シルバーと幅広い方々による作品をご紹介します。

作品展示 2月19日

とき 2月19日

ところ ギャラリー 3月10日

熊野高校卒業作品展

高校生活の思い出として、卒業制作作品(書、絵画、造形等)を展示します。

作品展示 2月26日

とき 2月26日

ところ コミュニティホール 3月10日



大賞 徳野 久二(大阪府)

「意識の中」

昨年12月に開催された人権フェスティバルで、映画女優の忍足亜希子さんの講演会を聴きにこられたAさんが、先日講師の著書『私が私らしくあるために』を読んだ感想を話してくれました。

忍足さんは映画『アイ・ラブ・ユー』『アイ・ラブ・フレンズ』で主演をされ、日本最初のろう者女優として、テレビなど多方面にわたって活躍されている有名な方です。

忍足さんは著書の中で「強いて私がみんなと違うことと、いえば(中略)つまり耳が聞こえないということだけです。私にとって「聞こえない」とは普通のことですが、周りからはそうは見えないかもしれません。でも本当に「普通」なんです。と書かれています。

この本全体を通して、Aさんは本当に考えさせられることばかりで、特に次の文章に強烈な衝撃を心を感じたそうです。

「『バリアフリー』についてよく尋ねられますが、私たちがう者からバリアをつくった覚えはありません。いつの間にかできたものでしょうか。ろつ者と接したことはない人たちが、「そうわからない」から構えてしまっ『心の壁』が「バリア」になっているのかと思います。答える私に、ほとんどの方は戸惑われたり、拍子抜けしたような表情になります。それもまた不思議です。どんな答を期待していたのでしょうか。』

日常知らず知らずのうちに、障害を持つている人の「自分たちは他のみんなと変わらない普通の人間なんだ。特別な人間ではないんだ。普通に接してほしい」という願いを無視して「かわいそう」という同情的感覚で接していたのではないのか、バリアフリーと、いいながら、バリアを張り、そのバリアを取り外せないのは他ならない自分であったことに、気づかされましたとAさんは語っていました。

(住民課同和対策室)

この地に

(鯉)

地元、熊野高校を通じて、地域と学校について考えていきます。

国立江田島青年の家主催による「高校生と外国人留学生との交流会」の中で、選択体験学習があります。竹クラフト、和風作り、紙すき、書道の中から一つ選び、体験をします。その体験学習「書道」を本校書道部が運営を任せられ、熊野町の紹介に始まり、郷土の産業・文化などを説明し、掛け軸（色紙）を参加者の皆さんに仕上げてもらいました。外国人留学生に身振り、手振りで自分達の思いを伝えたり、押印をする時、「これは何？なぜ押すの？」と言う質問にとまどう場面も見られましたが、外国語指導助手に助

書道部、
江田島へいく

筆都が育てる
筆都が育てる

熊野高等学校



けていただき何とか切り抜けることができました。最後に挨拶をした後、お互いの住所を書き取ったり、写真を撮りあったりする場面がとても印象的でした。「筆を持って集中することができ、良い作品ができました。」と参加者は語ってくれました。

熊野高校からの
お知らせ

芸術類型卒業作品展

とき 2月20日(水)～26日(火)
午前9時～午後5時まで
(26日は午後3時まで)
ところ 町民会館 1階ロビー

芸術類型卒業演奏会

とき 2月21日(水)
開場 午後5時半
開演 午後5時45分
ところ 町民会館 講堂

今、吹奏楽部が熱い！

毎日、4階から学校中にすてきな音を奏でるのは吹奏楽部です。写真は昨年因島市民会館で開催されました広島県高等学校音楽祭で演奏の様子です。今年も、各楽器ごとに一生懸命練習をして「金賞」めざして頑張ります。



くまの歌壇

熊野町短歌同好会

見上ぐれば高々と澄む冬の月我に語りかくるがに中空に浮かぶ
白浜の岩礁によせる浪白く輝く見えて沖の遙けき
機密費も天下りにも縁無きと北風吹く今日を懸命に生きる
ゆつくりと頭を下げて別れ告ぐ下取されゆく白い愛車に
追いこされ負けじと力みて競いみる何処の誰とも知らぬ相手に
山燃える紅葉を賞でし沓き日よ誘いくれし友は在わさず

- 中井桂子
- 中井千代子
- 高松勝子
- 原森喜久枝
- 中本寿美子
- 大杉徳子